

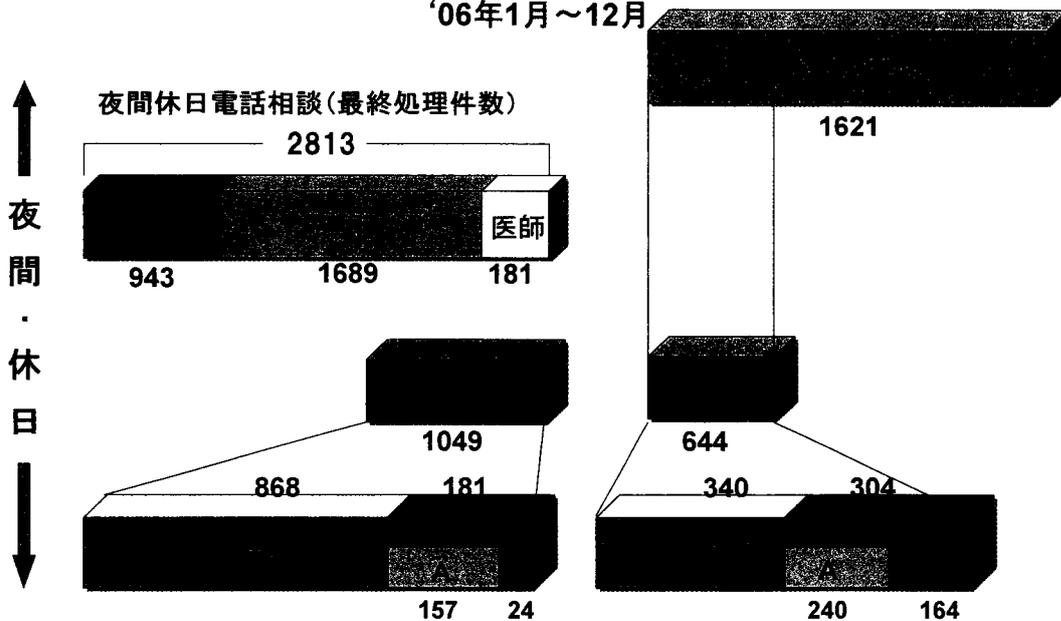
さわ病院のアウトカム

April,23,2007

31

さわ病院における全救急態勢の実態

'06年1月～12月

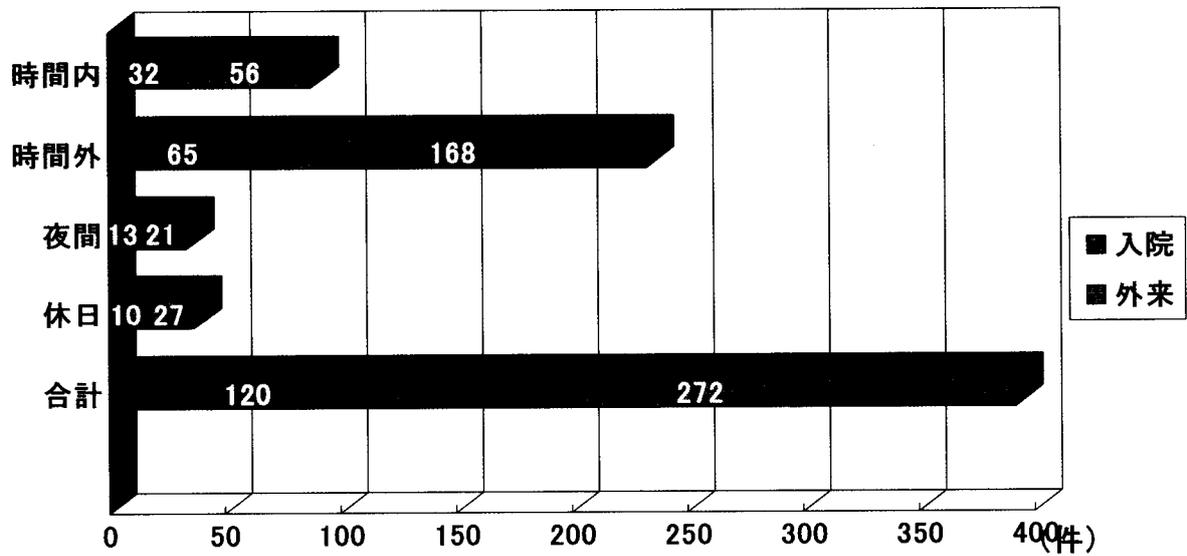


* 救急とは、救急隊(A)・警察搬送(P)を示す

April,23,2007

32 ★

さわ病院の往診の状況 (97年9月~06年12月)112ヶ月



April,23,2007

33

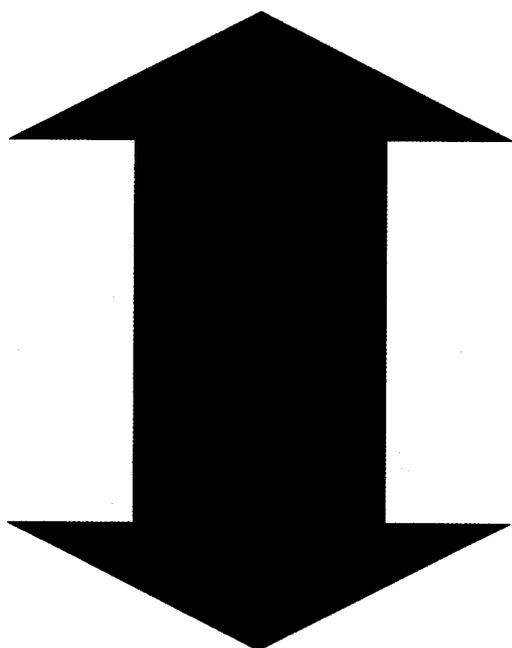
大阪市と東京都の現状(1ヶ月当たり)

		救急医療相談	初期	二次
大阪市調査 (1999)	大阪市 260万人	—	38	51
	大阪府下 610万人	—	87	87
東京都調査 (2002 ~2003) 1200万人	2002	849	13	21
	2003	846	12	34

April,23,2007

34

医療的サポートと入院期間

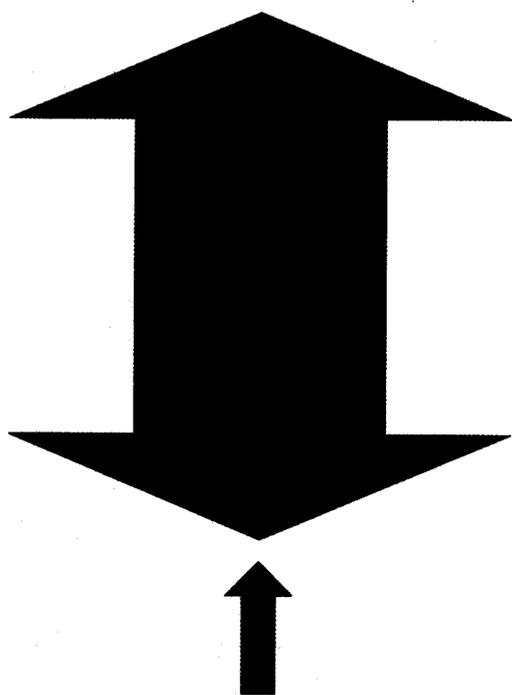


- ←1974年 デイ・ケア
- ←1986年 精神科訪問看護(2×/M)
ナイト・ケア
- ←1988年 精神科訪問看護(2×/W)
- ←1994年 精神科訪問看護(3×/W)
訪問看護ステーションの拡大
デイナイトケア
- ←1995年 精神科救急医療システム

April,23,2007

35

福祉的サポートと入院期間

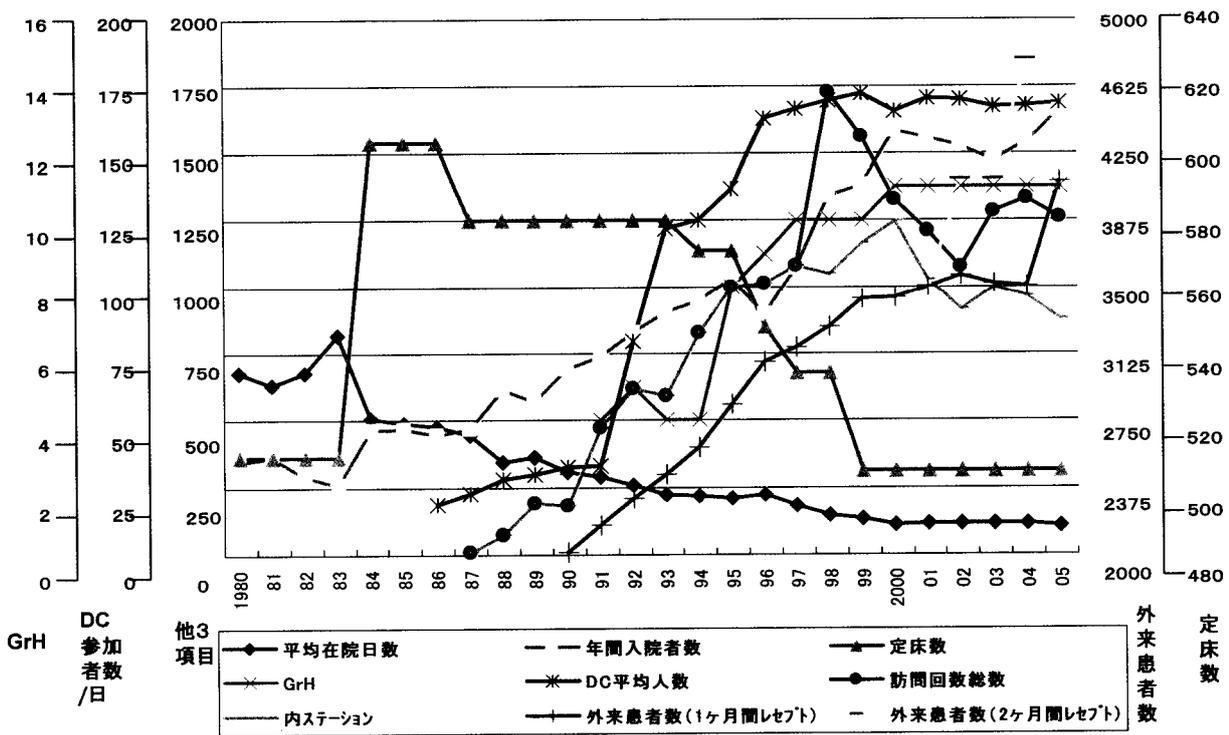


- ←1987年 小規模作業所助成
- ←1988年 生活訓練施設
福祉ホーム
通所授産施設
- ←1992年 グループホーム
- ←1993年 入所授産施設
- ←1995年 福祉工場
- ←1996年 地域生活支援センター
- ←1999年 福祉ホームB
- ←2000年 小規模授産施設
- ←2002年 ホームヘルパー
ショートステイ

April,23,2007

36

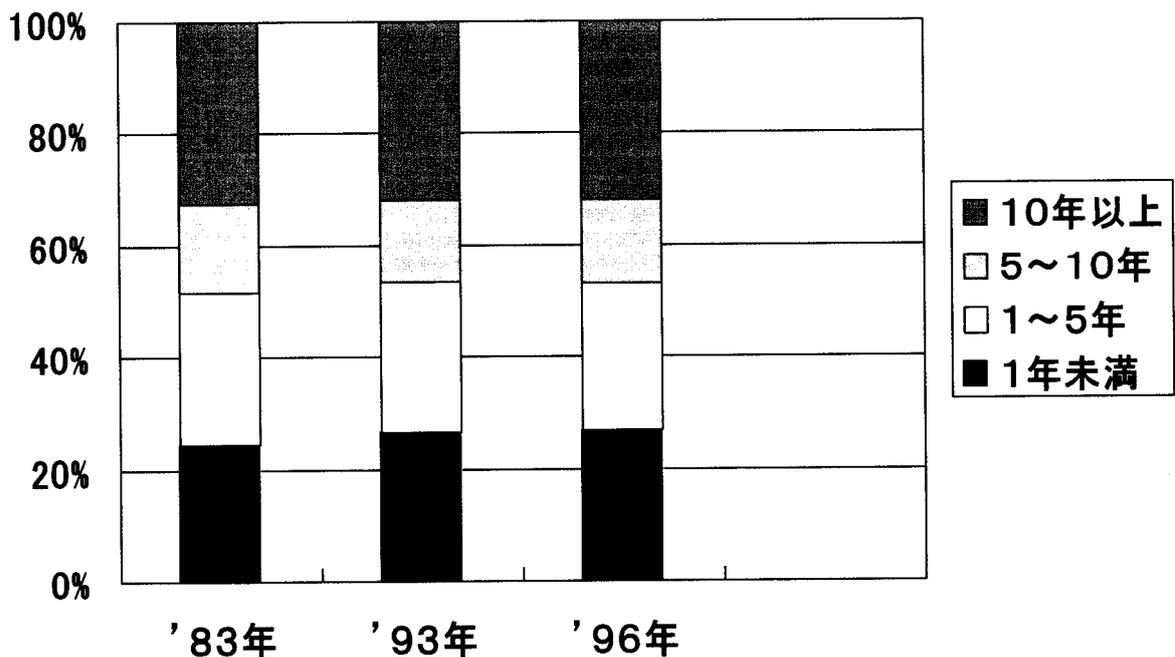
さわ病院の施設及びシステムの変化と患者動態



April,23,2007

37

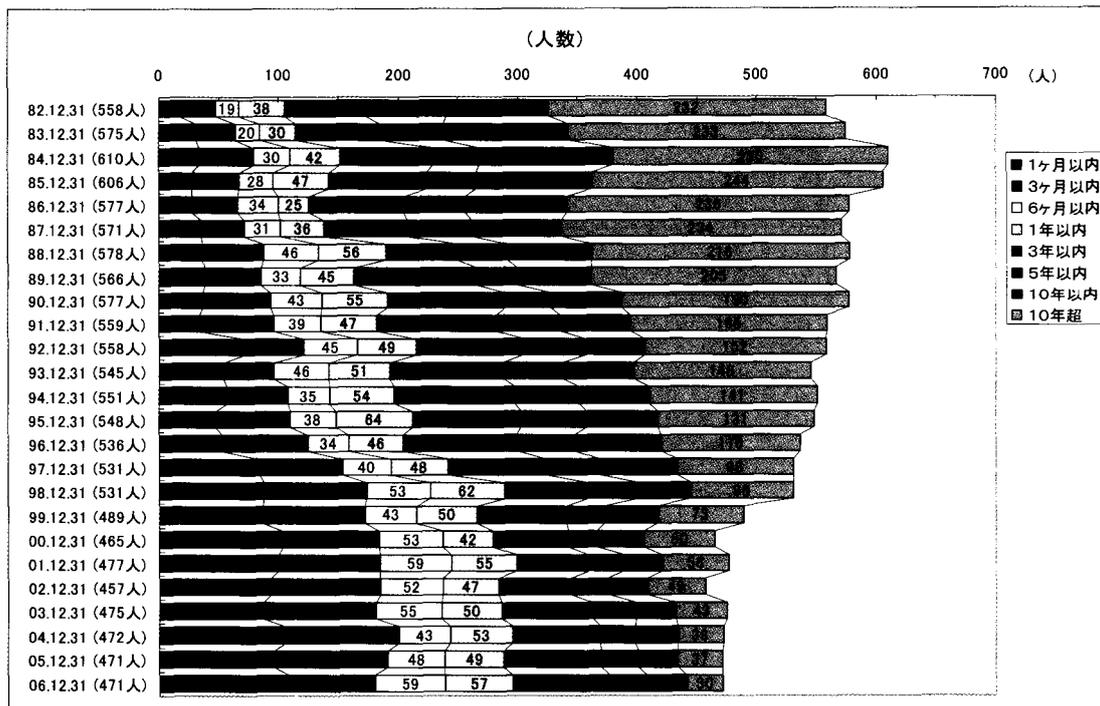
入院期間の推移



April,23,2007

38

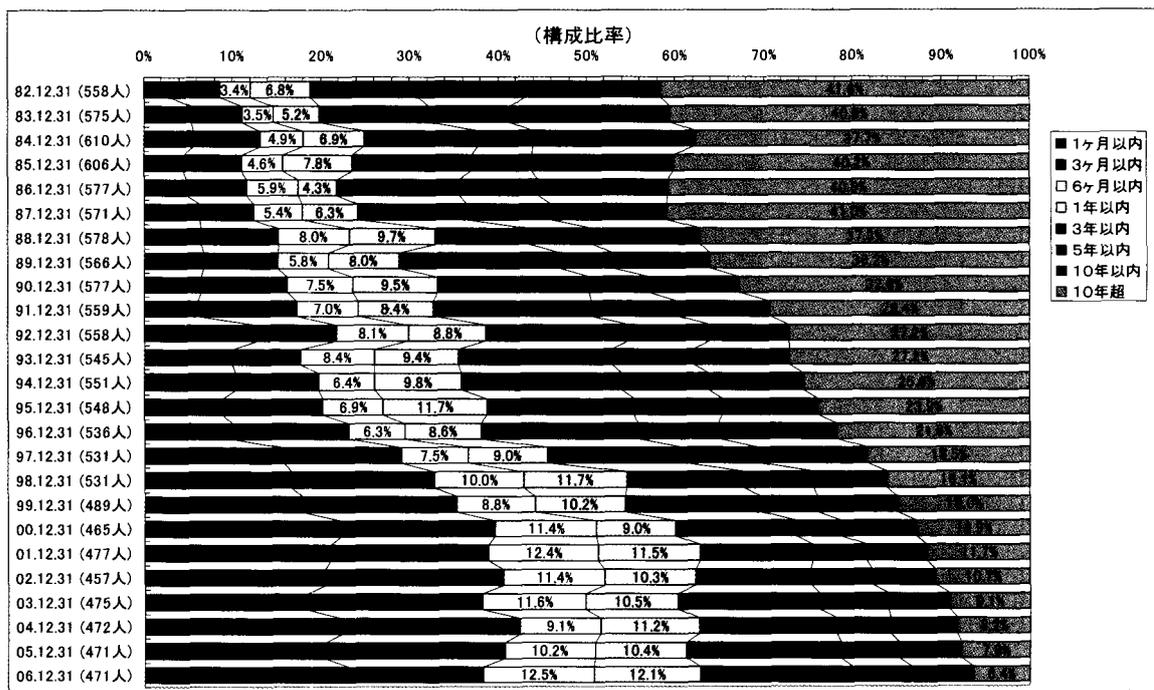
さわ病院在院患者の在院日数別の年次推移(人)



April,23,2007

39

さわ病院在院患者の在院日数別の年次推移(%)



April,23,2007

40

日精協マスタープラン調査2002 統合失調症圏

	精神症状1	精神症状2	精神症状3	精神症状4	精神症状5	精神症状6	計
能力障害1	3810	3372	708	207	37	22	8156
能力障害2	1165	13969	12538	3018	411	90	31191
能力障害3	134	2951	23748	23321	4399	458	55011
能力障害4	36	304	4010	17683	16161	2095	40289
能力障害5	40	61	501	1743	6423	5402	14170
計	5185	20657	41505	45972	27431	8067	148817

April,23,2007

41

さわ病院福祉ホームB入居者

性別	年齢	精神症状	能力障害
男	75	3	3
男	68	3	4
女	46	3	4
女	78	2	2
男	47	5	4
女	76	3	4
男	63	3	2
男	75	5	4
女	74	1	2
女	51	3	3
女	27	5	4
女	77	2	2
女	63	4	3
女	52	3	3
女	55	3	2
男	65	4	4
女	64	2	3
男	37	4	3
女	53	2	3
男	40	2	3

April,23,2007

42

さわ病院グループホーム入居者

性別	年齢	精神症状	能力障害	障害程度区分	社会的行動
女	77	5	4	3	2
女	64	3	3	2	1
女	67	4	4	2	2
女	59	5	5	2	2
女	59	5	4	3	2
女	52	4	3	2	1
女	69	4	3	2	2
女	63	3	3	2	2
女	57	4	3	3	2
女	63	3	3	1	2
男	71	4	4	3	2
男	49	5	4	4	2
男	69	3	4	2	1
男	35	3	3	2	1
男	60	3	3	2	2
男	59	4	3	3	2
男	64	2	2	1	2
男	57	2	2	2	2

April,23,2007

43

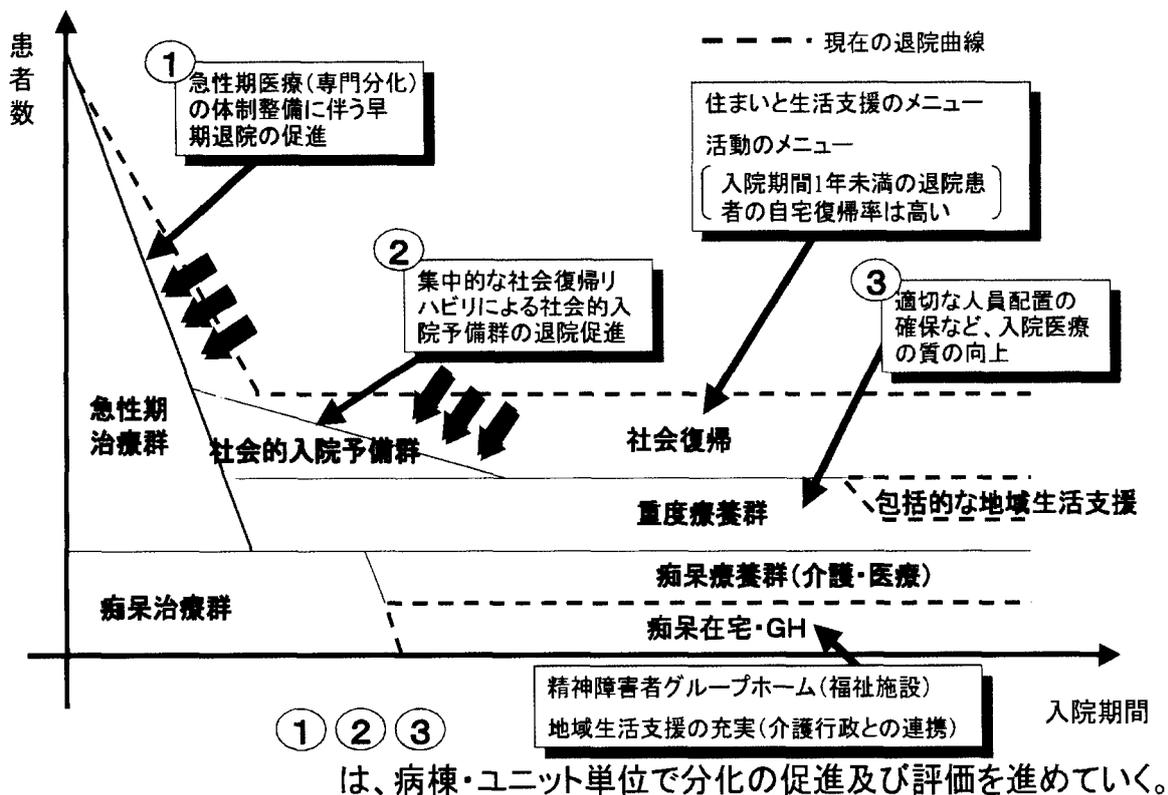
今後の精神医療についての私見

April,23,2007

44

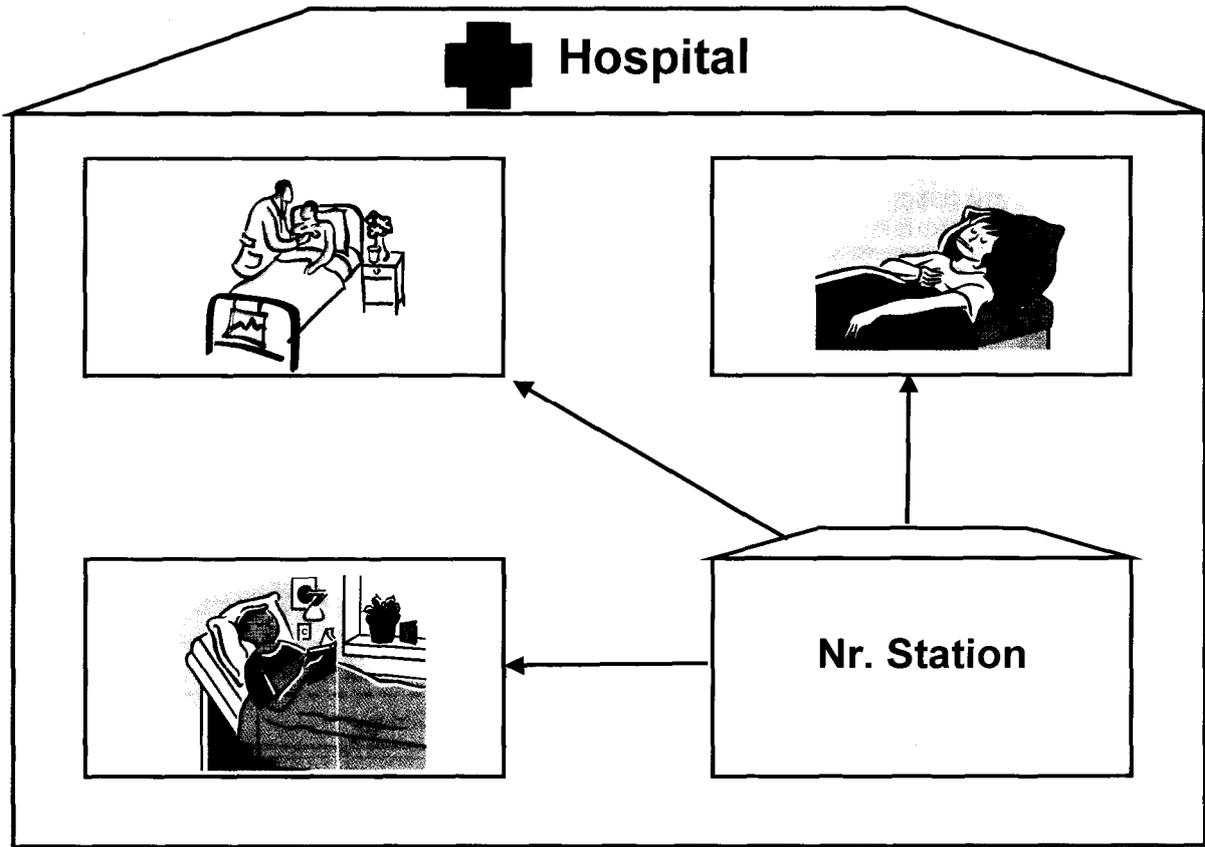
病床の機能分化のイメージ

(別紙10)



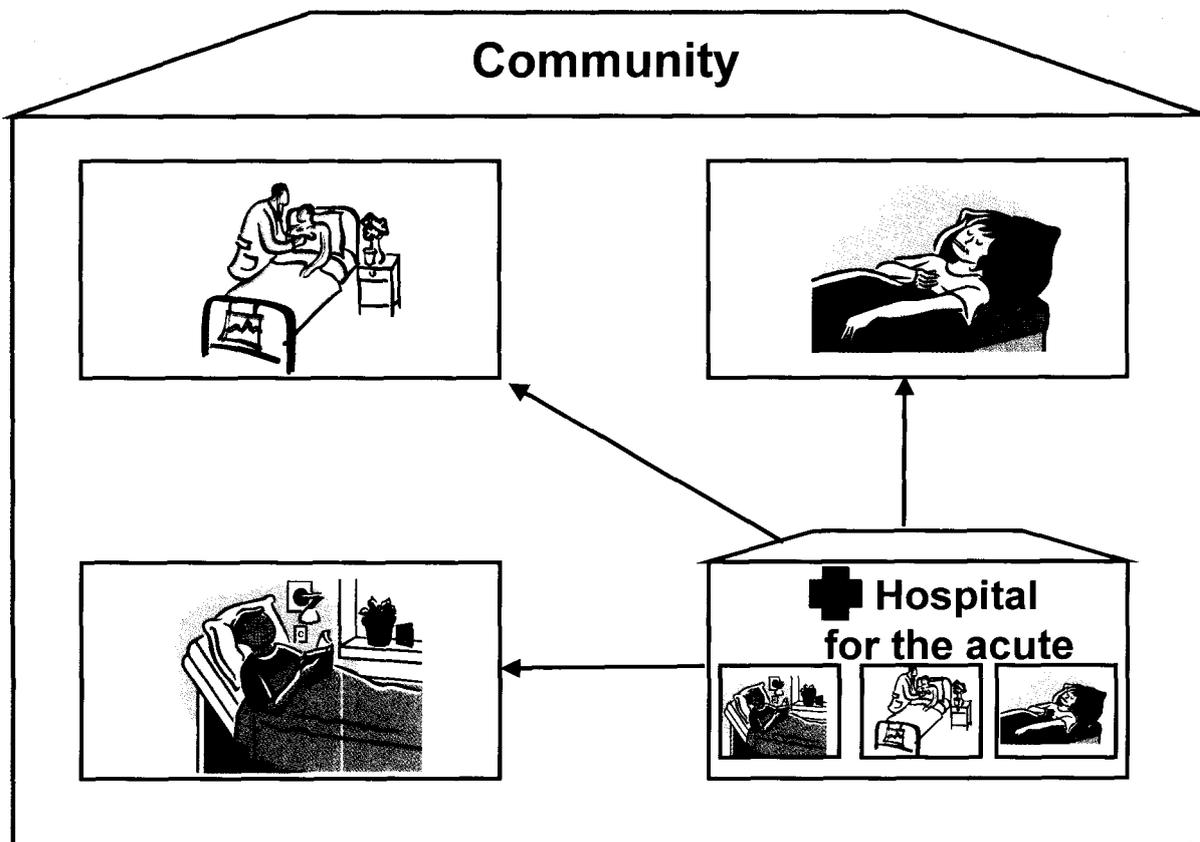
地域精神保健・医療・福祉の スローガン

- 地域は病院だ
- 家庭は病室だ
- 町中開放病棟だ



April,23,2007

47

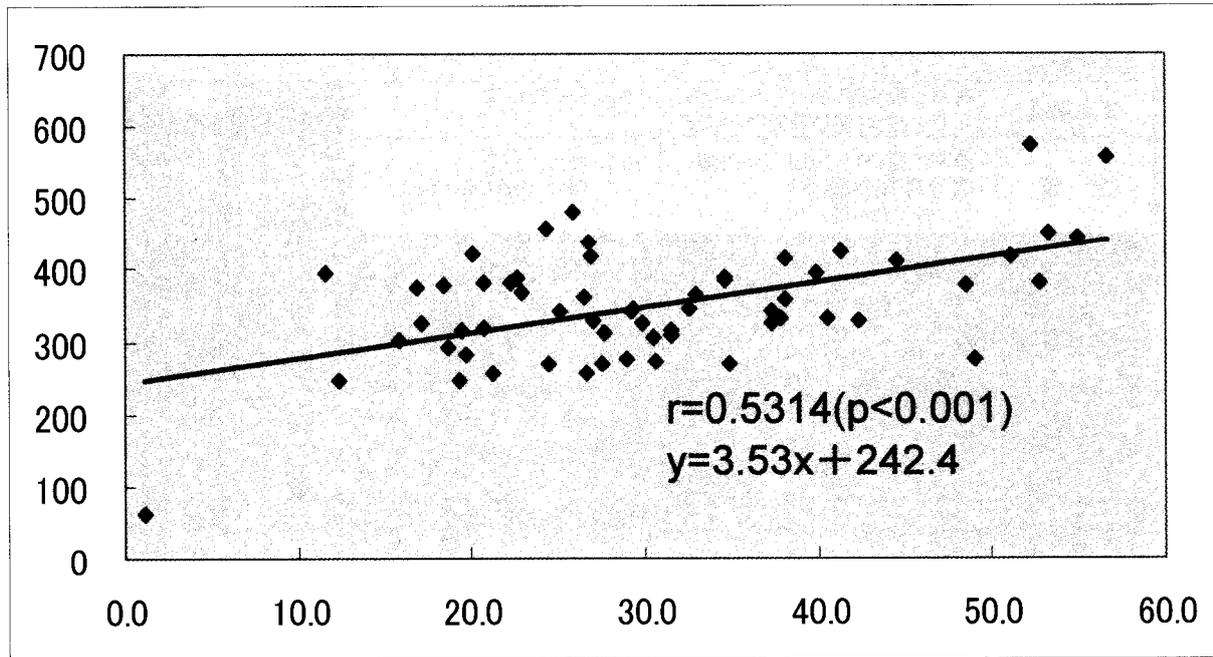


April,23,2007

48

47都道府県と13政令市の 精神科病床数と平均在院日数の相関(2003年)

—2004年我が国の精神保健福祉より—

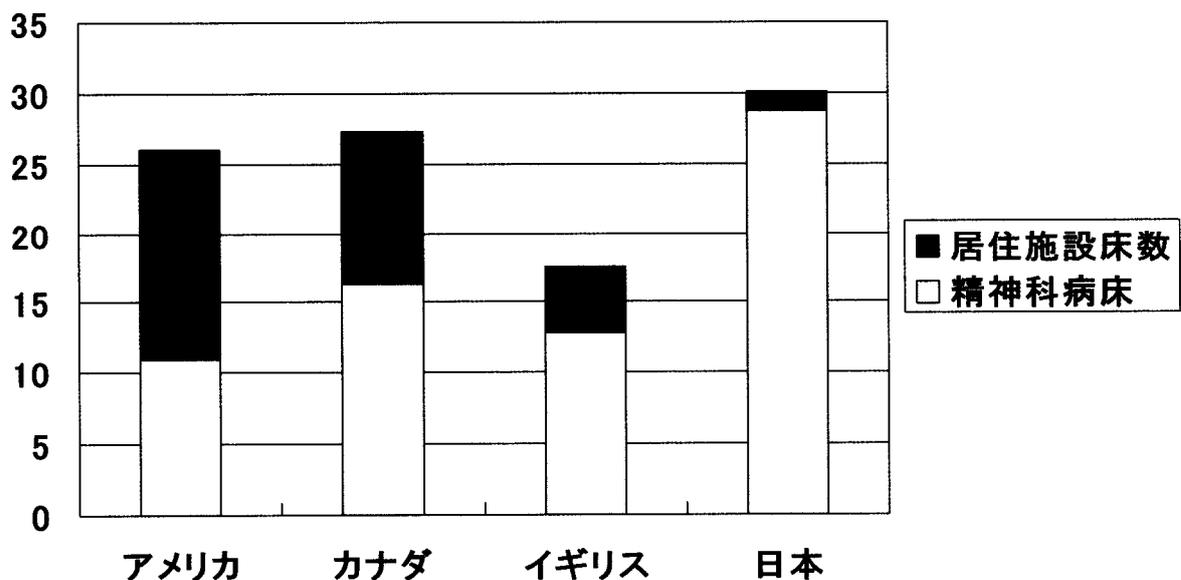


April,23,2007

49

外国における精神科病床と居住施設入居者数 —浅井の法則—

床／人口万



April,23,2007

50

⑦地域移行型ホーム・退院支援施設のあらまし

27

	地域移行型ホーム	退院支援施設	
		病棟設備を転用する場合	外で設置する場合
法的位置付	共同生活援助、共同生活介護	自立訓練(生活訓練)、就労移行支援	
定員規模	・事業の最低定員: 1ホーム当り4人~20人(知事承認で30人)	20人以上60以下	20人から30人程度
居室	・原則個室(既存施設利用の場合は経過措置あり) 1人当り床面積7.43㎡以上	・1室当り4人以下 1人当り床面積6㎡以上	・1室当り4人以下 1人当り床面積8㎡以上
設備	居間又は食堂、台所、便所等	食堂、浴室、洗面設備、便所等	
人員配置	[共同生活援助]世話人10:1以上 [共同生活介護]世話人6:1以上 生活支援員(区分3)9:1以上 (区分4)6:1以上 (区分5)4:1以上 (区分6)2.5:1以上 [サービス管理責任者] 30:1以上	[生活訓練] 生活支援員6:1以上 [就労移行支援] 職業指導員・生活支援員6:1以上 就労支援員 15:1以上 [共通事項] サービス管理責任者 1人 夜間の生活支援員 1人以上	
報酬基準	共同生活援助: 171単位 共同生活介護(区分2) 210単位 (区分3) 273単位	[定員40人以下] 生活訓練639単位/就労移行支援736単位 (月22日間が算定上限) [退院支援施設加算] 宿直体制115単位/夜勤体制180単位	
その他	・利用期間原則2年(既存Gを除く) ・原則外部の日中活動等を利用	・原則2~3年の標準利用期間(日中活動に夜間が付属) ・病棟転換による設置(病棟の転用又は病棟建物外の設置)	

April,23,2007

51

精神科病院が また困り込んでいる？

- ・ 選べるほどの資源があればそうならない
- ・ 選べるほどのサポートがあればそうならない
- ・ 資源の有効活用も必要・・・しかし病院くさは
いない

April,23,2007

52



April,23,2007

53



April,23,2007

54



April,23,2007

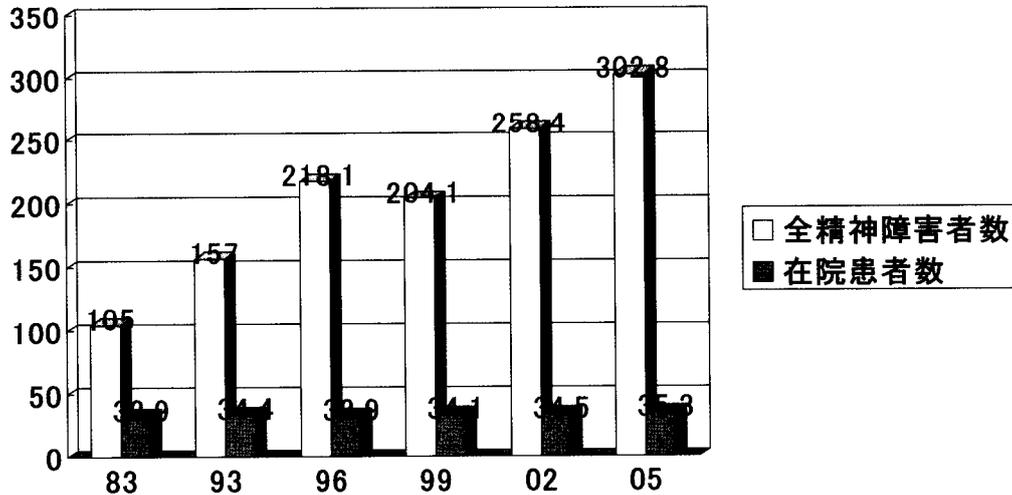
55



April,23,2007

56

日本の精神障害者数の推移



April,23,2007

57

- 今後の精神科医療の方向性(私見のまとめ)

 - 入院
 - 入院数は地域資源の整備に従って減る(病床を減らすか入院を確保するか)
 - 入院は短期
 - 外来比率が大きくなる
 - どこまでが医療の範囲か?
 - クリニックへの大きな流れと「いいとこ取りのつまみ食い」をどうする
 - 医師の確保が困難(特に指定医の確保)
 - 病院の質の確保
 - アメニティ、プライバシー、セキュリティを確保
 - 24時間応需(救急で確保)
 - スタッフの確保と教育
 - ・ 救急も短期治療もアウトリーチもやりがいがあるがバーンアウトに注意
 - 今後の大きな流れ
 - 退院したくなくなるほどの箱物、特に開放の療養病棟は借金してまで作らない
 - 地域に選べるほどの資源が用意されること
 - 病院は医療に特化、福祉に特化、あるいはそのハイブリッドになる
 - ・ 医療人は医療に徹するか福祉も取り込むか
 - 外来へ移行しても総医療費は減らさない方向を

April,23,2007

58

おしまい

April,23,2007

59